

# 令和3年度 学校園評価(関係者評価)シート

東神吉こども園

## 1 教育目標

「 わくわく心 いきいき体 」

## 2 指導目標

- ・基本的な生活習慣を身に付け、健康な心身を育む。
- ・いろいろな人と関わる力を育てる。
- ・自然とふれあい、感じる心を育む。
- ・どんなことにも挑戦し、やろうという意欲を育てる。

## 3 重点目標

- ・基本的な生活習慣を身に付ける。
- ・友達や保育教諭と一緒に遊ぶ楽しさや思い切り体を動かす心地よさを味わう。
- ・最後まで諦めずにやろうとする意欲をもつ。

### 評価基準

A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	成果（・）と改善の方策（○）	自己評価の適切さ （関係者評価）	達成状況
基本的な生活習慣を身に付ける。	・自ら進んで、「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」など挨拶をする。	A	・PTA役員を中心に行った挨拶運動が園児にも浸透してきた。また、職員もさらに意識をしたことで自ら挨拶をする姿が増えてきている。 ○異年齢で挨拶を交わすことが増えるように各クラスを回ってから自分の保育室へ行く機会を増やす。	PTA役員の協力で挨拶運動が良い効果につながっている。継続し、年齢に応じた挨拶ができる子どもたちを目指してほしい。	A
	・身の回りの自分でできることをする。	A	・未満児の衣服の着脱や排泄は継続的に丁寧な指導を行ったこと、消毒、アクリル板の配置等は習慣となったことで、自ら進んでする姿が多くなった。 ○年齢や個々に応じた支援を共通理解しておく。	家庭でしつけることが望ましいが、衣服の着脱やトイレトレーニング等に加えて、箸の持ち方、食事マナーも指導してほしい。	A
	・苦手なものでも食べてみようとする。	A	・野菜や魚が苦手な園児は多いが、個々に応じて、目標を決め、少しずつ食べられる量が増えてきている。また、おかわりをしてよく食べるようになった。 ○食べてみようと思える野菜が増えるように自分たちで育てる野菜の種類を増やす。	給食を提供してもらえることで、食材を始め、いろいろな料理に触れて恵まれている。これは、小学校への不安が和らぐことにもつながっていると思う。	A
友達や保育教諭と一緒に遊ぶ楽しさや思い切り体を動かす心地よさを味わう。	・いろいろな遊びを通して多様な動きを体験する。	B	・車での登降園が多く、体力の低下やスムーズに体が動かしにくいところがある。更なる遊びや生活の工夫が必要だと感じる。 ○多様な体験ができる朝の遊びを充実させる。	時代の流れで仕方がないことだと思うが、いろいろと努力していることが分かった。	A
	・友達や保育教諭に親しみを持ち、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。	A	・保護者や職員もコロナの対策に慣れてきたこともあり、必要に応じたスキンシップを図ることがしやすくなったことも大きいと思われる。心の距離感が縮まったように感じる。 ○世界が広がるように友達を感じ、異年齢の様子が見える場の使い方の工夫をする。	友達の気持ちがだんだん理解できるようになってくるのが成長だと思うので、年齢に応じて、相手の気持ちを知ったり考えたりすることも忘れないでほしい。	A

身近な人や自然に親し みをもつ。	・いろいろな人と関わりながら、生活し たり遊んだりする。	A	・調理師に今日の給食の感想やお礼を伝える姿が増え、よい関係が 築けた。また、PTAのお店屋さんで関わりをもったことで、保護者へ 積極的に関わっている姿も見られる。 ○ボランティアやPTAの協力を得ながら、いろいろな人と関わる体験 を増やす。	コロナが落ち着いたら、いろいろな 人との交流を工夫しながら、地域み んなで子供たちを育てていきたい。	A
	・身近な自然に触れ、それを使って 遊んだり、興味や関心を広げたりす る。	A	・たくさんの蝶々やバッタが現れるようになり、追いかけたり飼育した り、また、お家を作って遊びに取り入れたりして、親しみをもち、興味 や関心が広がっている。 ○次年度へつながるように実のなる木や親しみのある花を計画的に 育て、保育に取り入れたい。	自然の中で遊ぶことは、興味や 関心が広がることになる。いろい ろなことに興味をもって生活範囲 を広げてほしい。	A
最後まで諦めずにやろう とする意欲をもつ。	・自分なりの目標に向かっていろいろ な運動遊びやごっこ遊びにチャレン ジし、達成感を味わう。	A	・未満児は追いかけ玉入れ、3・4歳児はパカポコ、5歳児は竹馬に 自分なりの目標をもって取り組んだ。また、秋にはクラス毎にお店を つくり、ごっこ遊びを楽しんだ。 ○意欲が高まる保育を展開できるように事例検討を継続する。	コロナ禍にあって0～5歳児とそれぞ れの年齢の応じた創意工夫が見ら れた。全員が竹馬に乗れたことは良 い成功体験となったと思う。	A
	・友達や保育教諭と一緒に調べたこ とや感じたことを伝え合いながら、遊 びを進める。	A	・保護者の協力もあり、ネットで調べたり、動画を見たりして興味や関 心が増え、伝えたい気持ちも大きくなっている。伝えようとする姿、 伝え合いながら遊んでいる姿が増えた。 ○知識を増やし、現状のICT環境を工夫し、楽しく効果的な保育を 目指す。	インターネットを利用することが多く なっているので、家庭教育大学の研 修で学んだ安全で正しい使い方を 生かしてほしい。	A